

# 地域福祉コーディネーター (第2層生活支援コーディネーター)

---

対象の幸せを想う気持ちはみんな一緒

# 基本機能

## 1 制度上の位置づけ

- ▶ 市町村が定める活動区域ごとに、関係者のネットワークや既存の取組・組織等も活用しながら、資源開発、関係者のネットワーク化、個人と地域団体のマッチング等のコーディネート業務を実施することにより、地域における生活支援・介護予防サービスの提供体制の整備に向けた取組を推進する。（介護保険法）
- ▶ 第1層生活支援コーディネーターは市町村全域を、第2層は日常生活圏域を対象とする。
- ▶ 地域の実情に応じた多様な配置が可能。市町村や地域包括支援センターと連携しながら活動することが重要である。

## 2 規定する支援対象者

- ▶ 高齢者、市民



# 役割

## 1 生活支援・介護予防サービスの提供支援

地域住民主体で行われている活動について、課題を把握し、活動が継続できるようサポートします。

## 2 地域資源の把握及び周知と連携

地域で行われている様々な活動を把握し、必要に応じて専門職や地域住民に情報提供します。

## 3 関係者間のネットワークの構築

活動団体同士の横のつながりをつくることを目的に、情報交換を行う交流会を開催します。

## 4 資源開発

地域資源が不足していると思われる地域での取組創設を支援します。

# 特徴

- ▶ 春日井市は日常生活圏域（中学校区）ごとに地域福祉コーディネーター（第2層生活支援コーディネーター）が配置されている。  
令和5年7月現在、6名体制。
- ▶ 地域包括支援センターと連携し、地域の課題を把握し、地域住民主体の取組創設の支援を行っている。
- ▶ 地域福祉コーディネーターのいる春日井市社会福祉協議会地域支援課は、ボランティアセンターの事務局も担っているため、ボランティアとのつながりがある。

## 多職種と協働するためのワンポイント

- ▶ 地域住民からの「活動に参加してみたいな。」「地域でこんなことができたらいいのに。」の声があればぜひ教えてください。実現に向けて、住民の方と共に考えさせていただきます。